

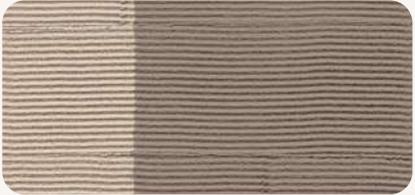
意匠性塗材塗替え用ハルス複合シリコン樹脂塗料

F☆☆☆☆

NSK-1704010

グラナダフレッシュ

菊水化学工業は砂壁状塗材「リシン」のパイオニア。キクスイの実績が生み出した新しい改修塗材。古くなった砂壁状、土壁状の独特な風合いを生かし、既存パターンをつぶすことなく、マットで落ち着いた素材感のまま美しい壁に蘇らせます。

既存パターン塗替え例（グラナダシリーズ）		所要量 (kg/m ²)	1缶あたりの塗装面積 (m ²)
 リシン	 フィン	0.5~0.8	25~40
 デコ	 シエラ	0.6~0.9	22~33
 アンデス	 スタック押え	0.8~1.0	20~25

特徴

① 質感を保った優れた作業性

既存塗膜の凹凸部にまんべんなく入り込み、簡単に塗り残しのない美しい仕上がりが可能です。

グラナダフレッシュ
細かい骨材が素早く凹み部分に入り込みます。独特な風合いを損ねることなく新設のような美しい仕上がりに。



一般艶消し上塗材
意匠性の高い砂壁状、土壁状の独特な凹凸面に入りにくく、全ての凹凸に塗り込むと、パターンや質感を損ねてしまうこともあります。



② 塗装工程

ローラーからの塗着がとてもスムーズで、作業者への負荷が軽い優れたものです。既存塗膜が健全で、同系色での塗替えの場合、下塗りなしで施工できます。



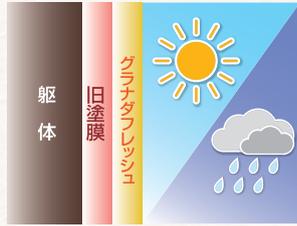
既存下地 → グラナダフレッシュ1回目 → グラナダフレッシュ2回目 → 仕上がり

※極端な色替えや、脆弱で吸い込みが著しい場合には下塗りを施工してください。

特徴

③ 高耐候性

高耐候のアクリルシリコン樹脂とHALS*の優れた効果により紫外線や熱の劣化原因から壁面を長期間にわたり保護します。



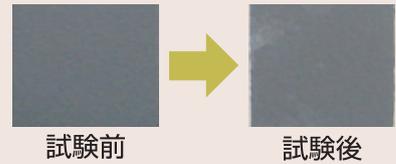
*HALS(ハルス)
ヒンダードアミン系光安定化剤
(Hindered Amine Light Stabilizer)
の頭文字からとった略語です。

促進耐候性試験(スーパーUV 432時間照射)

グラナダフレッシュ

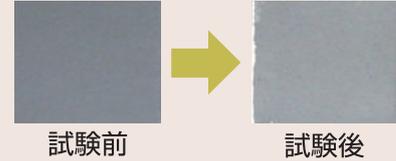
試験前と試験後の色の差が少ない。

高耐候!



汎用外装薄塗材E

試験前と試験後で色の差が確認できる。



注)色、施工状況により、退色の度合いは変わります。

④ 透湿性

透湿性に優れ躯体内の水分を外部に透過し塗膜の膨れを防止します。

⑤ 低汚染性

塗膜表面の親水性による自浄作用(汚れを雨で落とす機能)で汚れを防ぎます。

⑥ 微弾性適応

旧塗膜が微弾性の場合でも施工することができます。

⑦ 防カビ・防藻効果

カビや藻は人の健康にも影響する場合があります。グラナダフレッシュは優れた防カビ・防藻性により、カビや藻の発生を抑え、安心で快適な住空間を維持します。

標準施工仕様書

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	7MPa以下の水圧で水洗いを行って下さい。洗浄後は十分に乾燥させて下さい。 ゴミ、未硬化セメント粉末、粉塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去して下さい。				
上塗り	グラナダフレッシュ 主材:20 kg 清水:1.0~2.0 L (5~10%)	ウールローラー(中毛) はけ 等	2	工程内2以上	20~40㎡/20kg 0.5~1.0kg/㎡

※既存塗膜が健全な状態であることを想定しています。
※脆弱で吸い込みが著しい、又は巣穴が多い下地の場合、下塗り(推奨:キクスイ 浸透性プライマーE)を施工してください。
※濃色下地の場合は、白色下塗り(推奨:キクスイプライマースーパーWEなど)を施工してください。
※上記の各数値は全て標準です。施工方法、施工条件により多少の幅を生じることがあります。
※ゆず肌仕上げなど比較的フラットなパターンに施工した場合、ムラを生じることがあります。

既存塗膜が濃色の場合

極端な色替えの場合には下塗りを施工してください。



既存塗膜 下塗り (キクスイプライマースーパーWE)

グラナダフレッシュ

用途

内外壁面の塗替え

適応下地

砂壁状、土壁状、スタッコ、砂岩調等の意匠塗材

荷姿

グラナダフレッシュ 20kg/缶



注意点

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書、注意事項を守って施工してください。
※上記の各種製品データは、kikusuiダウンロードサイト(『キクスイダウンロードサイト』を検索)でご確認ください。



菊水化学工業株式会社 本社 ☎ 052-300-2222(代)

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台 ☎ 022-706-5710 大阪 ☎ 06-7668-5320
東京 ☎ 03-3981-2500 福岡 ☎ 092-433-6262
名古屋 ☎ 0568-69-5200